

香川大学におけるオープンキャンパス申込システムの内製開発 —申込データを教務システムに自動連携する機能の開発—

吉岡 里穂¹⁾, 合田 壮汰¹⁾, 小野 真以子²⁾,
黒河内 椋平²⁾, 崎村 詩音²⁾, 浅木森 浩樹¹⁾

1) 香川大学情報化推進統合拠点 DX 推進研究センター

2) 富士通 Japan 株式会社

s25g367@kagawa-u.ac.jp

In-House Development of an Open Campus Application System at Kagawa University: Implementation of an Automatic Data Linkage Function to the Academic Affairs System

Riho Yoshioka¹⁾, Sota Goda¹⁾, Maiko Ono²⁾,
Ryohei Kurokochi²⁾, Shion Sakimura²⁾, Hiroki Asakimori¹⁾

1) DX Research Center, Integrated Center for Informatics, Kagawa University.

2) Fujitsu Japan Limited

概要

本研究では、オープンキャンパスへの参加が入学に与える影響を評価することを目的とし、オープンキャンパス申込情報と入学後の学生情報を照合し、参加履歴を教務システムに自動的に追記する「オープンキャンパス申込システム」を内製開発した。本システムは、氏名・生年月日・高校名の3項目を用いて申込者と入学者を同定し、オープンキャンパス参加と入学との対応関係を明確化する。本論文では、開発した「オープンキャンパス申込システム」について述べる。

1 はじめに

エンrollment・マネジメント(Enrollment Management)とは、大学の組織目標や教育理念を達成するためにマーケティング手法を取り入れながら学内資源を統合的かつ効率的に運用し、戦略に基づき大学業務を体系的に運営する経営手法[1]とされ、多くの大学で同様の取り組みがおこなわれている。山田ほか[2]は、エンrollment・マネジメントに向けた業務システム内製開発および業務システム連携を推進すべく、学び直しを志す社会人、他大学の学部からの大学院進学希望者などを加えた多様な人物像を対象とし、かつ一度学部から企業へ就職し、実務経験から新たな学びを得るために博士前期課程や博士後期課程での学び直しも考慮した循環型のライフサイクルを定めた。本論文で述べるオープンキャンパス申込システムは、エンrollment・マネジメントにおけるライフサイクルの入学・進学志向形成段階に該当する。

近年、大学における入試広報活動の一環として、オー

ブンキャンパスが重要な役割を担っている。香川大学でも毎年多くの高校生が参加し、進学先としての理解促進や意欲向上につながっている。しかし、オープンキャンパス参加者の情報は入学後の学生情報と紐づけられておらず、オープンキャンパスの実施が入学者獲得にどの程度貢献しているかを定量的に把握することができなかった。

この問題に対して本研究は、「オープンキャンパス申込システム」を内製開発した。オープンキャンパス申込システムは、申込情報を入学後の学籍情報と照合し、参加履歴を教務システムに追記する機能を有している。本機能により、オープンキャンパスへの参加と入学との関係を定量的に把握することが可能になる。

本研究では、Microsoft Power Platform[3]を活用し、Campus-Xs[4]が有するデータを取得・更新するAPI(データ取得API, データ更新API)を開発し、これを用いて教務システムとは別のシステムとしてオープンキャンパス申込システムを開発するアプローチを採用した。本論文では、オープンキャンパス申込シス

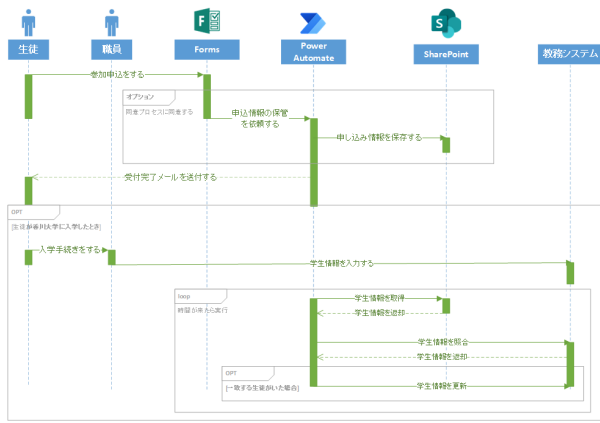


図1 オープンキャンパス申込システムのシーケンス図



図2 オープンキャンパス申込システムのUI

テムについて述べる。

2 オープンキャンパス申込システム

オープンキャンパス申込システムは、Microsoft Power Platform を用いて開発した。本システムは、Forms、SharePoint、Power Automate を組み合わせて構築されており、教務システムとして導入されている Campus-Xs と連携して動作する。

図1に、開発したオープンキャンパス申込システムのシーケンス図を示す。生徒が Forms から参加を申し込むと、個人情報利用に関する同意プロセスが提示される。同意した場合のみ、申込情報が Power Automate により SharePoint に保存される。その後、生徒が香川大学に入学した際に夜間処理が実行され、教務システムから取得した学生情報と申込情報を照合する。照合には氏名、生年月日、高校名の3項目を用いて一致判定を行い、すべて一致した場合にのみオープンキャンパス参加履歴が教務システムに追記される。

図2に、オープンキャンパス申込システムのUIを示す。本画面では、申込情報が登録され、入学後に教務システム上で参加履歴が確認できる。この仕組みにより、大学はオープンキャンパス参加と入学の対応関係を把握でき、施策の効果測定に活用できる。

3 おわりに

本論文では、Microsoft Power Platform を用いて内製開発したオープンキャンパス申込システムについて報告した。オープンキャンパス申込システムは、申込情報を入学後の学籍情報と照合して参加履歴を教務システムに追記することを目的としている。また、Forms による申込受付機能と同意プロセス機能を有しており、個人情報を適切に管理しつつ、施策効果を可視化できる効果も期待できる。

本研究は、オープンキャンパス申込システムの内製開発を通じて、大学自身で教務システムが有するデータを有効活用すべく、必要なシステムを内製開発した。本研究は、ユーザ企業である大学自身が教務システムなど基幹システムが有するデータの利活用に向けて必要な方策を明らかとしている。

謝辞

本研究は、富士通 Japan 株式会社との共同研究によって実施された。関係者に謝意を表する。

参考文献

- [1] 金明秀. エンrollment・マネジメントと教育実践の融合: 京都光華女子大学を事例として. 京都光華女子大学研究紀要, Vol. 46, pp. 251-296, December 2008.
- [2] 山田哲, 浅木森浩樹, 崎村詩音, 武久尚矢, 米谷雄介, 神馬豊彦, 八重樫理人, ”香川大学のエンrollment・マネジメント実現に向けた業務システム内製開発と業務システム連携の取り組み”, 大学ICT推進協議会 2025 年度年次大会講演論文集, in press.
- [3] Microsoft. Microsoft Power Platform, <https://www.microsoft.com/ja-jp/power-platform>. (2025.9.15 参照).
- [4] 富士通 Japan. Campus-Xs (キャンパスクロス), <https://docs.fujitsu/documents/003086/campus-xs-brochure-ja-20250519.pdf>. (2025.9.15 参照).